

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルシード潮見町			
○保護者評価実施期間	令和8年1月8日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		～	令和8年2月6日

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職の人員配置により専門的支援の実施を行うことができる。	・専門的支援の内容を保護者と情報共有を図り、自宅でも取り入れることができる課題設定を行っている。	
2	・保護者からの困り感に対する相談事に対して、迅速な対応を行いスタッフ間での情報共有を図り、支援に活かしている。	・事業所で実施した内容や起こった事柄に対して、その日のうちに情報共有を図りながら保護者からの困り感や相談が引き出せるように取り組んでいる。	・保護者同士で子育ての悩みなどを相談できる場の計画を行っていく。 ・放デイ利用中の子どもの様子をいつでも見ることができる開けた事業所作りを実施。 ・参観日の実施。(保護者会を含む)
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団活動や個別活動時のエリア分けや事前に「音が出る」などの告知を行っているが、音や動きが完全には防ぐことができないため、感覚過敏(聴覚・視覚)の特性のある生徒に集中力が続かない、落ち着かないなどの影響が出る場面もある。	・立地条件として交通も多く、人の流れもある場所である。	・周囲の人の動きや音がなるべく目や耳に入らないように環境設定の工夫を行い、落ち着いて過ごせる場所を作る。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。 *グループでのイベントを開催にて地域交流が図れるようにしているが、多くの参加につながっていない。		・地域の子どもや保護者が参加したいと思う内容を計画しながら、内容についてチラシの掲示にてイベントを知ってもらおう。
3	・保護者同士が子育てなどの悩みを話す場や交流する機会がない。	・以前は、保護者会の開催があったが現在は行われていない。	・保護者同士で子育ての悩みなどを相談できる場の計画を行っていく。 ・放デイ利用中の子どもの様子をいつでも見ることができる開けた事業所作りを実施。参観日の実施。